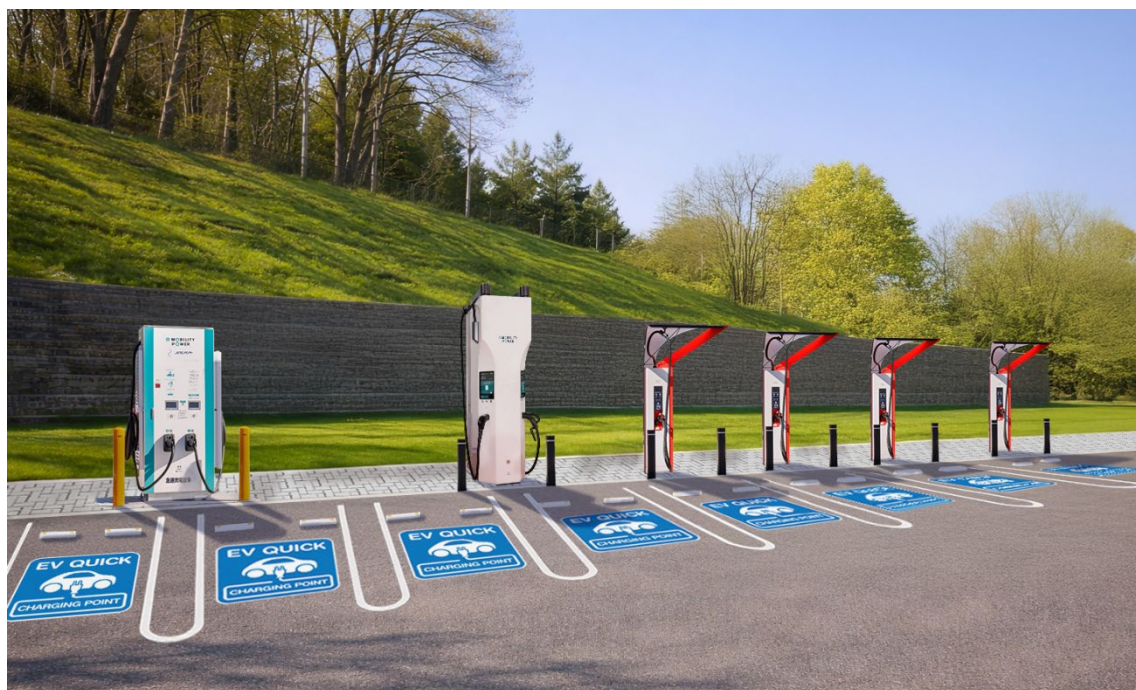


東名高速道路 海老名サービスエリア（上り・下り）急速充電ステーションの
リニューアルについて

株式会社 e-Mobility Power（代表取締役社長：池亀 耕太郎、以下「当社」）は、ステークホルダーの皆さまのご協力のもと、日本全国で急速充電ステーションの整備を進めております。

このたび当社は、経済産業省の令和7年度「クリーンエネルギー自動車の普及促進に向けた充電・充てんインフラ等導入促進補助金」充電設備（年度またぎ事業）の交付決定を受け、東名高速道路 海老名サービスエリア（上り・下り）急速充電ステーションのリニューアル工事を実施いたしますので、整備概要についてお知らせいたします。



急速充電ステーション リニューアルイメージ

東名高速道路 海老名サービスエリア（上り・下り）は、国内最大級の来場者数と高い知名度を誇る高速道路サービスエリアです。現在、海老名サービスエリア（上り・下り）に各3基設置されている急速充電器についても、設置以来多くの皆さまにご利用いただいております。

近年のEV車載電池容量の増加や充電能力の向上に伴い、短時間での充電ニーズや高出力充電器の設置ニーズが増加していることを踏まえ、このたび東名高速道路 海老名サービスエリア（上り・下り）の急速充電ステーションをリニューアルし、一口最大出力 350kW・最大電圧 1000V の「SERA-400」を含む急速充電器 3 基（8 口）を設置することといたしました。（※1,2,3,4,5,6）

リニューアルにあたっては、経済産業省のガイドライン（※7）に則り、駐車マス同士の間隔を十分に確保し、段差を減らしたバリアフリー対応設計とし、設置する充電器はすべてユニバーサルデザイン対応機種を選定いたしました。

海老名サービスエリア（上り）急速充電ステーションは 2026 年夏頃、海老名サービスエリア（下り）急速充電ステーションは 2026 年冬頃のリニューアル完了（※8）を予定しております。

海老名サービスエリア（上り・下り）急速充電ステーションの整備概要につきましては、以下をご覧ください。

| 急速充電ステーション名称 | 所在地 | 設備構成（左から順に配置予定） ※1,2,3,4,5,6 | リニューアル完了 予定時期 ※8 |
|--------------------------|----------------------|---|---------------------|
| 東名高速道路 海老名サービスエリア（上り） | 神奈川県海老名市 大谷南5-1-1 | ①東光高岳製 HFR1-120B10-A8：1基（2口） 一口最大出力：90kW（充電開始時から最大15分） | 2026年夏頃 |
| | | ②東光高岳製 SERA-400：1基（2口） 一口最大出力：350kW（充電開始時から最大15分） | |
| | | ③ニチコン製 NQM-UCB04P：1基（4口） 一口最大出力：150kW（充電開始時から最大15分） | |
| 東名高速道路 海老名サービスエリア（下り） | 神奈川県海老名市 大谷南5-2-1 | ①ニチコン製 NQM-UCB04P：1基（4口） 一口最大出力：150kW（充電開始時から最大15分） | 2026年冬頃 |
| | | ②東光高岳製 SERA-400：1基（2口） 一口最大出力：350kW（充電開始時から最大15分） | |
| | | ③東光高岳製 HFR1-120B10-A8：1基（2口） 一口最大出力：90kW（充電開始時から最大15分） | |

なお、急速充電ステーションリニューアル工事に伴い、工事期間中は海老名サービスエリア（上り・下り）の急速充電器が一部運休となります。詳細は、[こちら](#)をご確認ください。

当社は、引き続き様々なステークホルダーの皆さまにご協力をいただきながら、「いつでも、どこでも、誰もがリーズナブルに利用できる充電サービスの提供」を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

- ※1：「SERA-400」は、当社と株式会社東光高岳が共同開発した、CHAdeMO 規格において世界初となる一口最大出力 350kW（総出力 400kW）・最大電圧 1000V の超急速充電器です。詳細は[こちら](#)をご覧ください。
- ※2：急速充電器の出力は、車両の充電能力やバッテリー残量、同時充電台数および外気温等により異なります。
- ※3：一口最大出力 350kW は、車両が 1000V 充電に対応している場合の理論値です。車両が 800V 充電に対応している場合は同約 280kW/口、車両が 450V 充電に対応している場合は同約 150kW/口となります。
- ※4：充電開始から 15 分経過後の一口最大出力は、車両が 1000V 充電に対応している場合の理論値は約 200kW/口、車両が 800V 充電に対応している場合は同約 160kW/口、車両が 450V 充電に対応している場合は同約 90kW/口となります。
- ※5：2 台同時充電時の一口最大出力は、車両が 1000V 充電に対応している場合の理論値は約 200kW/口、車両が 800V 充電に対応している場合は同約 180kW/口、車両が 450V 充電に対応している場合は同約 150kW/口となります。
- ※6：ニチコン製マルチコネクタタイプ急速充電器（型式：NQM-UCB04P）の特徴や出力分配方法等につきましては、[こちら](#)をご確認ください。
- ※7：電動車のための公共用充電施設におけるユニバーサルデザイン・バリアフリー対応に関するガイドライン（2024 年 8 月）
- ※8：工事状況等により、急速充電ステーションのリニューアル完了予定時期は変更となる場合があります。急速充電ステーションのサービス開始時期につきましては、改めてお知らせいたします。

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社 e-Mobility Power 企画部 E-mail:emp_press@e-mobipower.co.jp

以 上